

(当センター事務局が公表資料をもとに作成)

平成 26 年度第 3 回県政世論調査の結果について (これからの環境保全の方向性)

- △ 調査対象：県内居住の 20 歳以上の男女 3,000 人に郵送
調査期間：11 月 1 日から 11 月 20 日まで
回答者数：1,443 人 (回収率 48.1%)

- △ 日常生活における環境にやさしい行動：
「ごみの分別」 77.0% 「買物袋持参」 68.8%、「冷暖房等節電」 61.3%

- △ 現在、関心の有る環境問題：
「温暖化等地球環境」 67.4% 「廃棄物問題」 57.7% 「海や川の汚れ」 52.5%

- △ 環境問題に関心を持つようになったきっかけ：
「新聞雑誌テレビ等」 78.2% 「学校教育」 18.8% 「地域の緑化美化活動」 17.7%

- △ 環境にやさしい行動を県民に浸透させるため県が力を入れるべき施策：
「情報提供・意識啓発」 64.1% 「商品省エネ度等の情報提供」 30.2%
「多様な主体の連携・協働」 29.3%

以 上